



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月28日

上場取引所 東

上場会社名 鈺研工業株式会社

コード番号 6297 URL <http://www.koken-boring.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 末永 幸紘

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務本部長

(氏名) 三輪 美之

TEL 03-6907-7888

四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,614	△10.9	136	△14.2	136	△8.8	128	△3.4
27年3月期第1四半期	1,812	24.4	158	209.4	150	194.2	133	207.6

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 126百万円 (△4.4%) 27年3月期第1四半期 132百万円 (214.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	14.37	—
27年3月期第1四半期	14.88	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	7,448		2,648			35.6
27年3月期	7,636		2,566			33.6

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 2,648百万円 27年3月期 2,566百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	5.00	5.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,700	△5.0	230	△24.1	210	△27.8	180	△25.9	20.07
通期	7,500	△10.1	500	△40.9	460	△44.8	390	△44.9	43.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P5「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	8,970,111 株	27年3月期	8,970,111 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	3,201 株	27年3月期	3,201 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	8,966,910 株	27年3月期1Q	8,966,940 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期連結決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、ギリシャの金融支援問題はあるものの、原油価格下落の影響や政府の各種政策の効果もあって、日経平均株価は2000年4月以来の高値を更新するなど、景気は緩やかな回復基調が続いております。

国内建設市場におきましては、公共投資は総じて弱い動きとなつてはいるものの、企業収益は改善傾向にあり、設備投資も持ち直しの動きがみられております。

こうした中、当社グループでは、「2013新中期経営計画」の最終年度である当連結会計年度も引き続き、売上の持続的拡大と収益体質の確立を上位目標とした経営戦略を推し進めており、この計画目標を達成するためにこれらに与えるリスクを抽出し、これらに対処するためのリスク・マネジメントを強化しております。

当第1四半期連結累計期間は、ボーリング機器関連の受注は伸び悩んだものの、工事施工関連において、トンネル等インフラ整備関連での受注が伸びたことにより、受注高は全体で前年同四半期比15.4%増の2,391百万円となりました。売上高につきましては、ボーリング機器関連、工事施工関連ともにボーリングマシン本体の出荷や国内工事の完工高等は前期同様に好調を維持しておりますが、ボーリング関連機材やツールズ等の部商品の出荷は減少し、また、海外ODA工事の完工高が低下したため、売上高は前年同四半期に比べ10.9%減少し、1,614百万円となりました。

利益面におきましては、売上高の減少と、販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は136百万円（前年同四半期比14.2%減）、経常利益は136百万円（前年同四半期比8.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は128百万円（前年同四半期比3.4%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①ボーリング機器関連

当セグメントにおきましては、受注については国内では好調が継続しているものの、海外からの受注成約が第2四半期以降にずれ込み、受注高は前年同四半期比8.9%減の1,303百万円となりました。こうした受注環境下、工場は月産能力5ヶ月分の受注残を抱えフル稼働を続けていますが、ボーリング関連機材とツールズ等の国内向け部商品の出荷が当四半期は減少したため、売上高は前年同四半期比6.3%減の805百万円となりました。当セグメントでは引き続き製品原価の低減を推し進めておりますが、売上高の減少と外注費、人件費および試験研究費等の増加により、セグメント利益（営業利益）は前年同四半期比96.9%減の1百万円となりました。

#### ②工事施工関連

当セグメントにおきましては、受注については国内の先進ボーリング工事、大口径立坑掘削工事やオリンピック関連の需要が大幅に伸びたことにより、海外の受注減を補い、受注高は前年同四半期比69.7%増の1,088百万円となりました。売上高につきましては、国内は大口径立坑掘削工事、トンネル調査工事、アンカー工事を中心に完工高を確保したものの、海外におけるODA水井戸工事が減少したため、売上高全体は、前年同四半期に比べ15.1%減少し、808百万円となりました。

利益面におきましては、売上高は減少したものの、当社の得意とする大口径立坑掘削工事が順調に完工したため、セグメント利益（営業利益）は前年同四半期比20.8%増の134百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の部

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して188百万円減少し、7,448百万円となりました。

流動資産は、商品及び製品が147百万円、仕掛品が111百万円増加しましたが、完成工事未収入金が275百万円、現金及び預金が197百万円減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して201百万円減少し、5,739百万円となりました。

固定資産は、27百万円の減価償却の実施を行ないましたが、建物及び構築物、機械装置及び運搬具などで41百万円の設備投資を行ったことにより、前連結会計年度末と比較して13百万円増加し、1,709百万円となりました。

②負債の部

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して269百万円減少し、4,800百万円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が148百万円、賞与引当金が62百万円、未成工事受入金が50百万円、未払法人税等が49百万円減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して293百万円減少し3,627百万円となりました。

固定負債は、リース債務が4百万円減少しましたが、長期借入金の増加27百万円などにより、前連結会計年度末と比較して24百万円増加し、1,173百万円となりました。

③純資産の部

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益128百万円等を計上したことから、2,648百万円となり、自己資本比率は35.6%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年4月27日に公表いたしました業績予想に変更ございません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項（4）、連結会計基準第44－5項（4）及び事業分離等会計基準第57－4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,039,704	842,376
受取手形及び売掛金	1,819,537	1,753,119
完成工事未収入金	790,577	515,097
商品及び製品	1,166,747	1,313,792
仕掛品	360,798	472,732
未成工事支出金	305,078	320,138
原材料及び貯蔵品	352,116	400,305
その他	110,645	123,033
貸倒引当金	△4,237	△1,595
流動資産合計	5,940,968	5,739,000
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,079,566	1,079,566
その他(純額)	507,592	522,713
有形固定資産合計	1,587,158	1,602,279
無形固定資産		
投資その他の資産	21,648	20,544
その他	181,973	175,964
貸倒引当金	△95,104	△89,186
投資その他の資産合計	86,868	86,777
固定資産合計	1,695,675	1,709,601
資産合計	7,636,644	7,448,602



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,660,805	1,511,976
工事未払金	88,243	67,984
短期借入金	906,188	895,188
1年内返済予定の長期借入金	254,640	261,378
未成工事受入金	256,419	205,946
未払法人税等	75,726	25,903
賞与引当金	150,748	88,560
その他	528,193	570,280
流動負債合計	3,920,964	3,627,217
固定負債		
長期借入金	364,700	392,412
役員退職慰労引当金	85,058	84,628
退職給付に係る負債	460,879	463,447
資産除去債務	11,401	11,436
その他	226,814	221,185
固定負債合計	1,148,853	1,173,109
負債合計	5,069,817	4,800,327
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,165,415	1,165,415
資本剰余金	5	5
利益剰余金	1,240,011	1,324,065
自己株式	△1,341	△1,341
株主資本合計	2,404,090	2,488,144
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,328	2,304
土地再評価差額金	178,539	178,539
退職給付に係る調整累計額	△18,132	△20,713
その他の包括利益累計額合計	162,735	160,130
純資産合計	2,566,826	2,648,275
負債純資産合計	7,636,644	7,448,602

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	1,812,151	1,614,474
売上原価	1,356,332	1,150,651
売上総利益	455,819	463,822
販売費及び一般管理費	297,187	327,709
営業利益	158,632	136,113
営業外収益		
受取利息	150	180
受取配当金	88	88
為替差益	—	3,102
受取保険金	—	3,745
貸倒引当金戻入額	1,776	2,318
その他	2,420	884
営業外収益合計	4,435	10,320
営業外費用		
支払利息	10,590	8,576
支払手数料	173	246
為替差損	1,327	—
その他	898	704
営業外費用合計	12,989	9,526
経常利益	150,078	136,906
特別損失		
災害による損失	640	—
ゴルフ会員権売却損	—	49
固定資産除却損	0	62
特別損失合計	640	111
税金等調整前四半期純利益	149,438	136,795
法人税、住民税及び事業税	16,000	7,926
法人税等調整額	△4	△19
法人税等合計	15,995	7,907
四半期純利益	133,442	128,888
親会社株主に帰属する四半期純利益	133,442	128,888

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	133,442	128,888
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	169	△23
退職給付に係る調整額	△1,447	△2,580
その他の包括利益合計	△1,277	△2,604
四半期包括利益	132,164	126,283
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	132,164	126,283

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ボーリング 機器関連	工事施工関連			
売上高					
外部顧客への売上高	859,953	952,198	1,812,151	—	1,812,151
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,679	—	1,679	△1,679	—
計	861,633	952,198	1,813,831	△1,679	1,812,151
セグメント利益	47,180	111,509	158,690	△57	158,632

(注) 1. セグメント利益の調整額△57千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ボーリング 機器関連	工事施工関連			
売上高					
外部顧客への売上高	805,890	808,584	1,614,474	—	1,614,474
セグメント間の内部売上高又は振替高	528	—	528	△528	—
計	806,419	808,584	1,615,003	△528	1,614,474
セグメント利益	1,449	134,651	136,101	12	136,113

(注) 1. セグメント利益の調整額12千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。